医療法人 静和会 浅井病院研究所

2025 年度　研究実績

査読付き論文

1. Syohei Miyamoto, Fumiya Tanji, Suguru Iwano, Atushi Iwasawa, Hidenobu Ohta, Kyoichi Ono.Moderating role of alcohol tolerance in the association between excessive drinking and psychological distress: a cross-sectional study among agricultural workers in Japan. BMC public health 25:2765, 2025

2. Yusuke Mitani, Yuko Yoshimura, Shinichiro Mizutomi, Tetsujiro Shirahashi, Hidenori Iwasaki, Ikuko Hama, Takashi Ikeda, Sanae Tanaka, Chiaki Hasegawa, Hidenobu Ohta, Akiko Ando, Kazutoshi Cho, Mitsuru Kikuchi, Taizo Wada.　Sleep variability and learning outcomes in preterm and full-term children: An observational study. Early human development 212:106413, 2026

総説

1. 太田英伸，吉村優子，安積陽子，樋口重和，菊知充，長和俊．早産児の睡眠・精神発達と早期療育．精神神経学雑誌. 127:447-457, 2025

2. 原広一郎，富沢想，田中麻里．心因性非てんかん発作（PNES）で濃密なケアを要した症例．Epilepsy 19（２）：35-9，2025

3. 原広一郎．精神科医によるてんかん診療のすすめ－てんかん専門医を取得して損はない－．臨床精神医学 52（12）1443-9，2025

学会発表

1. 瀬崎真也，長尾俊宏，齋藤渚，赤瀬瞳子，増子遥華，青山顕匠，田中麻里，金見志穂，吉野美子，宮下恵美子，原広一郎，儘田孝，秀野武彦，浅井禎之．芸術療法を用いた集団プログラム導入の取り組みについて． 第 8 回日本うつ病リワーク協会年次大会，松本，2025/4/26

2. 長谷川正人，目澤守人，清水健生，福尾ゆかり，門脇康弘，原広一郎，大内基司，譲原雅人，秀野武彦，浅井禎之．InBody を用いたデイケア運動プログラムの効果判定と運

動習慣づくり－精神科病院における糖尿病療養指導(第 22 報)－．第 68 回日本糖尿病学会年次学術集会，岡山, 2025/5/31

3. 松田公子，林憲民，原広一郎，秀野武彦，浅井禎之．病院薬剤師による認知症対応型グループホーム介入の効果～居宅療養管理指導業務と内科訪問診療同行の実践から～．第 67 回日本老年医学会学術集会，千葉，2025/6/28

4. 加瀬亜衣，飯塚大祐，松田公子，坂間淳孝，舘野周，原広一郎，秀野武彦，浅井禎之．病院薬剤師による特別養護老人ホームへの介入と処方提案～多職種連携に基づくポリファーマシー対策～．第 67 回日本老年医学会学術集会，千葉，2025/6/28

5. 原広一郎，渡邊さつき（座長）．一般演題 A　精神科・精神リハビリテーション．第 19 回日本てんかん学会関東甲信越地方会，オンライン開催，2025/7/5

6. 中山碩人，原広一郎，岩佐博人，飛留間昌子，岡崎園子，村上友里子，新川未央，塩江遼太，永嶌朋久，小澤健，秀野武彦，浅井禎之．てんかん重積状態で発症し幻覚妄想状態が遷延した可逆性後頭葉白質脳症（PRES）の一例：症候学及び脳波・画像診断上の特徴についての検討．第１9 回日本てんかん学会関東甲信越地方会，オンライン開催，2025/7/5

7. 渡邉駿介，原広一郎，塩江遼太，永嶌朋久，杉山健，岩佐博人，秀野武彦，浅井禎之．血中アンモニア値が軽度上昇であっても肝性脳症は起こりうる；診断における脳波の有用性．東京精神医学会第 134 回学術集会，東京，2025/7/5

8. 太田英伸．イライラ・不眠から始まった不登校（児童青年精神科での薬剤の使い方）．令和 7 年度 日本精神科病院協会・日本精神科医学会 学術教育研修会 薬剤師部門．日本精神科病院協会・日本精神科医学会．秋田.2025 年 8 月

9. 田中麻里、原広一郎、富沢想、長尾俊宏、赤瀬瞳子、岩佐博人、秀野武彦、浅井禎之．てんかん診療における心理職の多面的な関与の必要性：就労リハビリテーションと認知行動療法を中心に．シンポジウム 3「てんかん診療における心理職の役割」、第 58 回日本てんかん学会学術集会、宇都宮、2025/10/2

10. 内田洋平、原広一郎、富沢想、永嶌朋久、段谷佳奈、速水衛、田中麻里、千葉明子、川合隆世、岩佐博人、秀野武彦、浅井禎之．一般精神科臨床における心因性非てんかん性発作診療の実態と課題．第 58 回日本てんかん学会学術集会、宇都宮、2025/10/2

11. 青柳京子、岡原陽二、永山悠子、岩佐博人、原広一郎、金村英秋、峯清一郎、樋口佳則．てんかん診療ネットワーク整備の経過と課題 ～千葉県における検討．第 58 回日本て

んかん学会学術集会、宇都宮、2025/10/2

12. 原広一郎、渡邊さつき（座長）．シンポジウム 9「てんかんとスティグマ」、第 58 回日本てんかん学会学術集会、宇都宮、2025/10/3

13. Yohei Uchida, Koichiro Hara, So Tomizawa, Tomohisa Nagashima, Kana Dantani, Mamoru Hayami, Akiko Chiba, Takayo Kawai, Mari Tanaka, Hiroto Iwasa, Takehiko Shuno, Yoshiyuki Asai. Facts and Issues in the Treatment of Psychogenic Non-Epileptic Seizures in General Psychiatric Clinical Practice. 委員会企画 4 YES-Japan English Oral Presentation Session 第 2 部, 第 58 回日本てんかん学会学術集会、宇都宮、2025/10/3

14. 原広一郎、千葉明子、川合隆世、段谷佳奈、岩佐博人、秀野武彦、浅井禎之．てんかんをもつ人が中高年になったとき：多様な課題と包括的支援について．シンポジウム 13「てんかんの生涯診療：真の長期包括的てんかん医療を求めて」、第 58 回日本てんかん学会学術集会、宇都宮、2025/10/3

15. 田中麻里、原広一郎、富沢想、内田洋平、長尾俊宏、永嶌朋久、岩佐博人、秀野武彦、浅井禎之．PNES に対するワークブックを使った認知行動療法（CBT-ip）第 3 報：オンラインビデオ通話システムの有用性．第 58 回日本てんかん学会学術集会、宇都宮、2025/10/4

研究会・講演会・社会活動

1. 太田英伸．症例から思春期の神経性やせ症の治療を考える～摂食障害 CBT と栄養指導のサポートも含め．秋田県精神科栄養士会研修会，秋田県精神科栄養士会.秋田市，2025 年 4 月

2. 原広一郎（座長）．てんかんと精神症状セミナー，東京，2025/5/16

3. 原広一郎，岡原陽二．（総合司会）．なんとかなる？なんとかしよう！てんかんプライマリケア＜ステップ 6＞　きっと身に付く！てんかん臨床の基本：診療現場のノウハウから．令和 7 年度千葉県てんかん支援拠点病院 WEB 研修会，市原，2025/6/14

4. 太田英伸．つらい気持ち相談ワークショップ～相談できる人をつくろう！～．能代第一中学校 SOS の出し方研修会.能代市市民福祉部．能代，2025 年 7 月

5. 太田英伸．睡眠メカニズムの発達と睡眠障害について．令和 7 年度 秋田大学 公開講

座「子どもから高齢者まで眠れない現代人のための睡眠力向上作戦」 2025 年. 秋田大学. web, 秋田, 2025 年 7 月

6. 原広一郎. てんかん診療　おさえておきたいエッセンス. Neurology Education Seminar for Psychiatrist, 東金, 2025/9/26

7. 樋口佳則, 原広一郎（総合司会). てんかんを知ろう！その 5　私たちにとってのてんかん〜当事者の思いが伝わる医療を目指して〜. 令和 7 年度千葉県てんかん支援拠点病院市民公開講座, 市原, 2025/10/25

8. 原広一郎（座長). 第 24 回てんかんプライマリケアセミナー, 千葉, 2025/12/4

9. 原広一郎. メンタルヘルスでの連携支援〜精神科的包括支援の有用性〜. なんとかなる？なんとかしよう！てんかんプライマリケア＜ステップ 7＞どんな時に、どんな支援がつながる？〜てんかん医療における連携支援の実際〜. 令和 7 年度千葉県てんかん支援拠点病院 WEB 研修会, 市原, 2025/12/6

10. 赤瀬瞳子、原広一郎. 仕事をするための支援〜プレリワーク・リワークプログラムの活用〜. なんとかなる？なんとかしよう！てんかんプライマリケア＜ステップ 7＞どんな時に、どんな支援がつながる？〜てんかん医療における連携支援の実際〜. 令和 7 年度千葉県てんかん支援拠点病院 WEB 研修会, 市原, 2025/12/6

11. 原広一郎. てんかんのメンタルヘルスケア. 知ろう！その 6　自分と家族のために〜知っておこう、てんかんの正しい知識〜. 令和 7 年度千葉県てんかん支援拠点病院市民公開講座, 千葉, 2026/1/24

12. 田中麻里. 自分で発作をコントロールするために. 知ろう！その 6　自分と家族のために〜知っておこう、てんかんの正しい知識〜. 令和 7 年度千葉県てんかん支援拠点病院市民公開講座, 千葉, 2026/1/24

13. 太田英伸. 胎児期から乳幼児期の睡眠の発達的変化：赤ちゃんの発達に最適な眠りと遊びとは？. 乳幼児睡眠アドバイザー 養成講座. NPO 法人 赤ちゃんの眠り研究所. 日立, web.2026 年 2 月

科研費申請

2025 年度

研究種目：基盤研究(C)

応募区分：一般

小区分：応用人類学関連
研究代表者：太田英伸
研究課題名：乳幼児の知的発達を促す遊び・睡眠プログラムの開発
応募年月日：2024 年 9 月 1 日

研究種目：予防・健康づくりの社会実装に向けた研究開発基盤整備事業（ヘルスケアサービス実用化研究事業）
応募区分：一般
小区分：応用人類学関連
研究代表者：太田英伸
研究課題名：子育て認知行動療法による ASD リスク児への早期予防介入の研究開発
応募年月日：2025 年 4 月 1 日